

## 次期小田原市長選挙立候補予定者への公開質問状

令和2年4月28日

認定NPO法人 みんなでお城をつくる会

NPO法人みんなでお城をつくる会では小田原城天守を木造復元するための運動を展開しています。そのためには小田原市との協働が必須です。そこで次期市長選において天守を含む小田原城の整備計画について次期市長選挙立候補予定者にご質問させていただき将来の方針について伺いたと思います。なおご回答は当会HP、FBその他SNSを通じて一般公開いたします。あらかじめご承知おき下さいますようお願い致します。

### 質問1

現在の小田原城天守は2016年4月に耐震補強工事などを終え、大地震などが起きても館内にとどまる人々の命を守る一応の対策が取られましたが、もし現天守が今後災害で大きく破損または一部倒壊した場合、大規模な復旧工事をしようにも史実に基づいた「復元」天守ではないため、再度復元するための史料が充分ではなく、史跡整備の基準上、場合によっては復旧不可あるいは取り壊さざるを得ない可能性があります。また国の文化審議会は先日、現存しない天守などの歴史的建造物の復元について、実質的にその基準を緩和することを決定しました。

当NPOでは将来において天守を保全するためにも天守に関する史資料の整理や調査研究は引き続き必須事項だと考えます。その上で今年築60年になる現在の鉄筋コンクリート造天守を地域の木材、日本の伝統的な木造技術を駆使して建て替えを目指しています。森林の自然環境を改善し、地域の林業に活力を与え、伝統的な木造文化を未来へ継承する木造天守復元は小田原市にとって多様な産業に恩恵を与える整備計画と確信しています。

小田原城天守木造復元を推進するお考えはありますか？理由も含めてご回答ください。

### 質問2

小田原城は天守を含む国史跡指定区域内とその周辺も含め、西に箱根山を背負い東に相模灘を望む絶好のロケーションを有しています。現状、小田原市は三の丸地域を含む建築物の高さ制限を一部緩和しました。近年開発が進む小田原駅周辺の建築群は小田原城を取り囲み、天守をビルの陰から望むような状況にあります。これは市が掲げる歴史的風致の維持向上と矛盾していると感じます。また、国として観光立国を目指す中、小田原城が小田原の顔であると考えれば小田原市として大事な観光資源の価値の低下を招いていると考えます。このような現状を踏まえて、「小田原固有の歴史的風致を守り育て、次世代へ伝えていくために必要な事項を定め、本市がもつ歴史的資源を積極的に活用した、小田原らしいまちづくりの推進」をどのように進めるのかご意見をお聞かせください。

なお、「」内の文章は平成23年5月発行：小田原市歴史的風致維持向上計画、1ページ 計画策定の背景よりの抜粋です。

\*回答の形式はWORD 或いは PDF にてメールで送付していただきますようよろしくお願いいたします。

送付先 [info@odawara-oshiro.org](mailto:info@odawara-oshiro.org)